

平成30年度 第2回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

「ロボット介護機器開発の最新動向・課題と中国地域の研究シーズ・ニーズ」

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター

【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2018年9月18日(火)、広島市のホテルセンチュリー21広島において「平成30年度 第2回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器分野への新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズ・ニーズを紹介するものです。「介護・福祉機器」をテーマとする今回は、「ロボット介護機器開発の最新動向・課題と中国地域の研究シーズ・ニーズ」と題して開催しました。

基調講演では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)のプロジェクト・スーパーバイザーを務めておられる大阪工業大学の本田 幸夫 教授にロボット介護機器開発について具体例を交えて最新動向をご紹介いただき、講演では、AMED の榎引 圭子 主幹から“ロボット介護機器開発・標準化事業”の概要を紹介していただきました。参加者からは、「ロボット介護機器開発の新たな視点や柔軟な発想の重要性について紹介いただき、大変参考になった」、「AMED の活動の理解が深まり、国の施策の方向性が分かった」といった声をいただきました。

研究シーズ・ニーズ発表では、山口大学の中島 翔太 講師、岡山県立大学の高戸 仁郎 教授、広島国際大学の木藤 伸宏 教授および岡山理科大学の藤本 真作 教授に研究シーズ・ニーズを発表していただきました。

4件の発表に2社が関心を示され、今後、マッチングに向けた事業化検討会を進めて参ります。

【講演風景】



【日程・場所】

日時：2018年9月18日(火) 13:30～17:20

会場：ホテルセンチュリー21広島（広島市南区的場町 1-1-25）

【参加者】 86名

【プログラム】

- | | | |
|----------------------|---|---------|
| (1) 基調講演 | 「ロボット介護機器開発の最新動向と実用化に向けた課題」
大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科 教授
ロボティクス&デザインセンター長 | 本田 幸夫 氏 |
| (2) 講演 | 「AMED の“ロボット介護機器開発・標準化事業”について」
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
産学連携部 医療機器研究課 主幹 | 榎引 圭子 氏 |
| (3) 研究シーズ・
ニーズ発表1 | 「誰もが安心して利用できる福祉支援技術～見守り支援システムと移動支援システム～」
山口大学大学院 創成科学研究科 工学系学域
電気電子工学分野 講師 | 中島 翔太 氏 |
| (4) 研究シーズ・
ニーズ発表2 | 「車いすの段差乗り越え時の介助者負担を軽減する新機構の開発」
岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 教授 | 高戸 仁郎 氏 |
| (5) 研究シーズ・
ニーズ発表3 | 「高齢者の下肢運動機能向上を目的としたスクワット・マシンの開発」
広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科
教授 | 木藤 伸宏 氏 |
| (6) 研究シーズ・
ニーズ発表4 | 「空気圧人工筋を使用したパワーアシストスーツの開発」
岡山理科大学 工学部 知能機械工学科 教授 | 藤本 真作 氏 |



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>